

## 旭市学校再編計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
	<p>学校再編は、新しい時代を担う旭の子（我が国を担う子）を育てるためのものでなければを考えます。誰もが集うことができ、切磋琢磨できる場であり、一人ひとりの児童・生徒の思いが実現できる学び舎を新たに創造していかねばなりません。昔、よく聞かされた「おらが村の学校」的な発想から脱却して進めることが肝要と考えます。また、再編された学校は、より魅力的なものでなければならぬと考えます。そういった点も踏まえ、人口や児童・生徒数の推移委、校舎や施設の耐用年数、今後さらにひっ迫するであろう財政等を鑑みたとき、現時点で本案は妥当なものと考えます。</p> <p>ただ、四半世紀先を展望した時、児童・生徒数や学級数の推移予想から、小中学校の二次再編も視野に入れなければならないと考えます。そこで、以下の案を具申いたします。</p>	<p>ご意見を参考にしながら魅力ある学校づくりに努めてまいります。</p>
1	<p>①素案の中に小中一貫校との記載がありますが、北統合中学校は小中一貫校のモデル校として現干潟小学校も統合に加え、椿の海のと真ん中に魅力ある小中一貫校として早期の新設、開校を期待します。（中長期→短期で）</p>	<p>①の小中一貫校は、P.51に記載したとおりメリット・デメリットを踏まえたより深い議論と地域の合意形成が必要となるため、再編を進めていくなかで検討していきたいと考えております。</p>
	<p>②海上及び飯岡地域の小学校の統合は、東統合中学校案と同時進行により短期で行うことが望ましいと考えます。海上地域が難しければ、現飯岡中学校を統合小学校とする飯岡地域小学校を先行して行うことは可能を考えます。</p>	<p>②は、P.44のとおり（仮称）東統合中学校の実施を短期目標としています。そのため、中学校の統合を進めつつ、海上・飯岡地域の統合小学校も並行して進めていく予定であります。</p>
	<p>③現学校再編が終了した後、市内小中学校の規模がさらに縮小となることから、中学校が2校となる二次再編を視野に準備を進められるよう希望いたします。想定される北統合中学校の場所から、もう一校は総武本線南側にと考えます。これに沿って小中一貫校や小学校二次再編案を構築し、長期の展望を描き示していくことも最終案には必要なものと思っております。</p>	<p>③はP.52「6.再編計画の見直し」に記載したとおり、今後の社会情勢や児童生徒数の推移を見据えつつ、新たなニーズや環境を捉えたうえで計画の見直しを実施することとしていますので、その際には二次再編も踏まえた検討をしていきたいと考えております。</p>
	<p>終わりに、学校再編という難しい問題に真摯に取り組まれ、素案を示して下さった学校再編計画策定委員会委員の皆様並びに事務局担当者各位に心から感謝いたします。</p>	<p>ご意見として承りました。</p>

## 旭市学校再編計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
2	<p>P.25「4. 統合小(中)の選定理由と課題」                      枠内表題は「選定理由」とあるが、「選定理由と課題」としたほうが良い。</p>	<p>ご指摘の文章については、ご意見を参考にしながら見直します。</p>
	<p>P.43「IV-1 生徒数の推計」                      は下線のように修正したほうが良い。                      「<u>統合中学校の生徒数と学級数の推計からは、早期に統合したとしても…中略…維持することが難しくなるようです。旭市としては1学年2学級…中略…運営をしていくことが必要となります。</u>」</p>	
	<p>P.43「表-27 生徒数の推計」備考欄                      「既存施設の活用性が高い。」という記述は、統合中学校の生徒数の推計には合わないと思う。</p>	
	<p>P.48「3 各学校施設の状況」                      学校施設の状況という題で、干潟中学校状況と統合中として選択しない方向性を記述するならば、修正したほうが良い。                      (例) 干潟中学校の敷地は市内の他中学校より狭いものの隣接する市有地(ため池)を利用することで第二中学校と同じ規模になります。しかしながら、ため池の埋め立てには多くの課題があるほか、2040年以降には順次、既存校舎が耐用年数を迎えることを考慮し、(仮称)北統合中学校は学区内の生徒数の分布や立地条件を視野に入れた新たな場所の選定を検討していくこととします。</p>	

## 旭市学校再編計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
	<p>教育長はじめ、関係者の皆様素晴らしい計画をありがとうございます。統廃合については賛成です。下記の意見をお伝えします。よろしくお願いいたします。</p>	
3	<p>① おおむね適正な計画だと思います。しかし、コロナ渦にあり、人口推計は今後変更が生じるのでは。人口推計の指標はとても重要であり、今後数値の修正・見直しをしたうえで計画は策定するのか。</p>	<p>①はP.52「6.再編計画の見直し」に記載したとおり、今後の社会情勢や児童生徒数の推移を見据えつつ、新たなニーズや環境を捉えたうえで計画の見直しを実施することとしています。本計画の人口推計は、平成27年度の国勢調査を基に計算していますので、新たな国勢調査の結果を踏まえた計画の見直しも行っていきます。</p>
	<p>②教育の空洞化を生まないため、早期の統廃合の取り組みが大事。失われた世代・空白期間を作らないために、統廃合の計画スケジュール前倒しをお願いしたい。「遅くとも10年後」という表記はやめてほしい。「5年後には必ず着手する」に変更してください。</p>	<p>②は、今後20年間ですべての再編が完了できるように記載したものです。各地域への説明は早期に行う予定であり、その結果次第で計画の前倒しも可能となりますので、表記については変更はございません。</p>
	<p>③中学に希望の部活がないため、やむなく学区外の学校へ入学する生徒が多いようです。統廃合までの空白期間を作らないため、また在籍生徒の希望を叶えるため、学校の枠を超えた他校の部活動入部を認めることはできないか。また、教師の負担軽減も含め、部活ではなく地域に根ざしたクラブ活動設立を市も推進し、そこで好きなスポーツ・活動ができる環境推進を進めていただきたい。</p>	<p>③部活動の活動方法については、P.14の記載のほか、文部科学省より「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」が示され、部活動を地域単位にするなどの方向性が示されていますので、そういった点も踏まえて検討していきたいと考えております。</p>
	<p>④コロナにより、移住・Uターンに興味があるが、クラス替えのできないような少人数学校へのわが子の入学に躊躇する保護者は多い。丁寧な説明と、一斉スタートの統廃合ではなく、できるところから早急に統廃合してほしい。</p>	<p>④学校の再編については、一斉スタートではなく、各地域への説明を早期に行い、合意を得られた地域から実施していく予定であります。</p>
	<p>⑤名称について、地域に根差した名前をお願いしたい。東西南北や一・二・三などの順番の名称はやめてほしい。たとえば干潟町での町内区を中西東で番号順の名はわかりづらいので。</p>	<p>⑤学校の名称については、P.19のとおり地域の代表者会議の中で決定していく予定です。他市の状況を見ますと公募している学校が多いようです。</p>
	<p>⑥統廃合をスムーズに進めるため、統廃合予定の学区同士での合同行事やイベントなどを積極的に開催して信頼関係を深めてほしい。</p>	<p>⑥については、P.52「子どもたちへのサポート」のとおり、統合前の交流や個々に応じた心のケアなど、必要な活動を行っていくこととしております。</p>

## 旭市学校再編計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
4	P.15「3.学校再編の基本方針(3)」 ◎小中一貫教育・・・反対 理由 ・メリットを感じない。 ・1～9年生までいることで、教職員の負担が大きくなる。 ・近隣の「下総みどり学園」の視察はされたのか??	小中一貫校は、P.51に記載したとおりメリット・デメリットを踏まえたより深い議論と地域の合意形成が必要となるため、再編を進めていくなかで検討していくこととします。 なお、視察については、下総みどり学園のほか、市内の小中学校や他市の小学校も視察しております。
	P18「5.統合に伴う通学方法と跡地活用」・・・賛成 ・スクールバスのバスターミナルにするのは、有効な活用である。	立地的(土砂災害警戒区域等)な面も踏まえると、すべての学校に当てはまるとは言えませんが、有効な活用を検討していきたいと考えております。
	P21～41「9.小学校の再編」 ◎小学校の再編について・・・賛成 ・干潟地域は、古城小学校を統合校の場所にするのは、妥当である。…賛成	ご意見として承りました。
	P42～50「10.中学校の再編」・・・反対 理由 ・現状のままでよい。 ・統合にメリットがない。 ・統合すればよいという問題ではない。 ・干潟中学校・海上中学校・飯岡中学校は、残すべきである。 干潟地域・海上地域・飯岡地域、それぞれの歴史や文化は、残し、維持すべきである。 ・通学するのに、子どもも、保護者も、距離が長く負担になり、大変である。 例えば、古城地域の鎗木の外れから、琴田小学区の方へは、遠い。 ・教職員や講師などの職が、減ってしまう。	今回の再編計画(素案)は、今後の児童生徒数や施設の状況、市の財政状況を踏まえつつ、旭市が目指す「教育の公平性と充実」を図っていく上では、中学校の再編も必要だと判断しました。 (仮称)北統合中学校の建設位置については、地域のバランス等を踏まえて検討していきます。 また、教職員の配置については働き方改革等の観点も踏まえた適切な人員が確保できるよう協議してまいります。
	市民にとって、ベストな「旭市学校再編」になることを、願います。どうぞよろしくお願い致します。	ご意見として承りました。

## 旭市学校再編計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
5	<p>素案の中でスクールバスの利用について書かれている部分があります。今後、運航計画等について、地元の子どもたちのためにご協力できることがあれば、柔軟に対応します。</p>	<p>ご意見として承りました。</p>
6	<p>1. 千潟中学校は東総運動場と連携し、競技や練習できる所と宿泊できる部屋、トレーニングできる部屋など利用してはどうか。</p> <p>2. 温泉を掘り、普段は保養所、市内子どもたちの遊ぶ場所に利用。災害時の避難場所はもちろん、年配の方達にも普段から慣れてもらう為にも。</p> <p>3. コロナが終息後、県外・海外からの事業者に会議や地元産の野菜や花を親しんでもらう場として活用してもらうように整える。</p> <p>4. 各小学校は、地元地域に住み、登録してあればネットで予約し、教室を会合の場として(同窓会の場としても)。</p> <p>5. ドラマ撮影、写真撮影に利用したりも(テレビ局へ誘致したり)。</p>	<p>P. 18「統合に伴う通学方法と跡地活用」のとおり、廃校となる学校は、学童施設やバスターミナル、避難施設として有効活用を図っていきます。</p> <p>どのように施設を活用していくかは、耐用年数等を考慮しながら、活用できる施設は民間活用していくなど、様々な観点から検討していく予定であります。</p>